

会 議 録

会 議 の 名 称	令和3年度 第3回 豊中市産業振興審議会		
開 催 日 時	令和3年（2021年）11月18日（木） 19時00分～20時30分		
開 催 場 所	新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、Zoomを利用したオンライン開催	公 開 の 可 否	可・不可・一部不可
事 務 局	都市活力部 産業振興課	傍 聴 者 数	0人
公開しなかった理由			
出席者	委 員	梅村委員、加賀委員、菅野委員、山脇委員、吉村委員、和田委員	
	事 務 局	長坂都市活力部部長、藤家都市活力部次長、高島産業振興課長、良本課長補佐、多田係長、牟田、島村	
	そ の 他		
議 題	(1) （仮称）豊中市 新・産業ビジョン策定について (2) その他		
審議等の概要 （主な発言要旨）	別紙のとおり		

令和3年度第3回豊中市産業振興審議会会議録

日時：令和3年11月18日（木）19時～20時30分

場所：豊中市役所第一庁舎4階 第1会議室

開催方式：Zoomを使用したオンライン開催方式

出席者：加賀会長、梅村委員、菅野委員、山脇委員、吉村委員、和田委員
（欠席委員：東委員、北村委員）

1. 開会

・資料の確認

資料1「（仮称）豊中市 新・産業ビジョン 素案」

資料2「（仮称）豊中市 新・産業ビジョン（案）について」

資料3「（仮称）豊中市 新・産業ビジョン（案）地区別分類プロット図」

資料4「豊中市が実施したコロナ禍における主な事業者向け支援策実施一覧」
（参考）資料2新旧対照表

【事務局から説明】

- ・審議会の成立確認（過半数の出席）：委員8名のうち6名出席で成立
- ・傍聴者：なし
- ・コロナ禍のためオンライン開催

2. 案件

（1）（仮称）豊中市 新・産業ビジョンの策定について

（事務局）

- ・資料1～4の内容を説明

（会長）

- ・委員の皆様「新・産業ビジョン」の策定に関する施策内容や全体の方向性などについて、専門分野からのアドバイスやご意見をいただきたい。

（委員）

- ・資料1「第6章ビジョンの推進に向けて」の「ビジョンの進捗管理と中間見直し」の項目だが、活動指標の項目に、成果指標が混じっている。また、コロナ禍の影響がどこまで続くか先行きが不透明であるにも関わらず、成果指標の目標年度が令和9年度とずいぶん先に設定されている点が気になる。コロナ禍の影響が及ぶ期間は不明なので、指標はモニタリング指標として設定し、コロナ禍の影響が落ち着くまで様子を見て、収束後、新たに目標数値を設定し、2年～3年で計画内容の見直しをしてもいい

と思う。

(委員)

- ・計画期間はなぜ、6年間で設定しているのか。
- ・計画期間が6年なので、指標の目標数値は、現状（令和元年度）の数値を6倍しているのか。

(事務局)

- ・計画期間の6年については、もともと10年間の計画としていた。しかし、コロナ禍の影響を受け、経済状況があまりにも大きく変化したため、これから10年を見据えた計画の策定は困難であり、もう少し短期的な計画に変更する必要性があったことと、市の総合計画の計画期間が令和9年度までとなっていることから、令和9年までの6年間で計画期間とした。
- ・活動指標の設定には苦慮している。活動指標は、市が実施する施策ベースで設定しているが、予算を伴うことと、現状のマンパワーで達成できる数値というものを勘案し目標設定をしているため、数値的には大きな目標とはなっていない。

(委員)

- ・総合計画の期間に合わせて、6年間にしているのはわかるが、2年～3年ごとに計画内容を見直していく方がよい。
- ・プライオリティを決めて濃淡をつけるのが施策実施の基本だと思う。このような目標数値の記載をすると、「令和元年度が精一杯だったので、それを6年間頑張る」と見えてしまう可能性があり、もったいないと感じる。

(委員)

- ・資料1「第6章 ビジョンの推進に向けて」の項目で、活動指標と成果指標の混在部分についての整理、モニタリング指標としての記載はした方がよい。前回、基本方針によって指標の数にバラつきがあったが、今回は、その部分が整理されている。
- ・資料1の「第1章 市を取り巻く社会経済環境の変化」の項目で、見出しが「市を取り巻く」となっているが、内容としては「日本を取り巻く」経済環境の変化についての内容となっている。ここに第1章の内容がなくても、他の章でこの章で述べられている9つの事象に関係した内容の記載もあるため、第1章だけ、内容に違和感があった。第1章の内容がどこに繋がっていくのかというと全体に繋がるので、むしろ序章の次が第2章から始まっても違和感がない。第1章の必要性が分からない。
- ・基本方針2「地域経済の好循環をつくる」の項目で、環境に関する視点が全く出てこない。活動指標に「環境に関する指標」が入っていないが、リサイクルや事業系ゴミの排出量削減等、再生可能エネルギーへの企業の実践や、こうした問題への対応は、今後10年にもっと企業に取り組まなければいけない視点だと思うので、ビジョンにも記載するべきであると思う。

(会長)

- ・環境については、ゼロ・カーボンなど、これから社会としても取り組まなくてはならない重要な視点

だと思うが、これまでの議論の中で出てこなかった視点だと思う。

(事務局)

- ・第1章については、第4章「これから求められる産業施策の視点」につながる大きな話だと思っている。第4章の「1. アフターコロナを見据えた新しい社会づくり」には、第1章の「1. 新型コロナウイルス感染症の大流行」の内容が関係してくるし、また、第4章の「3. 社会課題の多様化」には、第1章の「3. 持続可能な開発に向けた国際協調の動き」の内容が関係してくる。内容的には大きな話だけれども、日本全体で起きている課題が、豊中市でも同じように起きていることを確認いただく導入部分が必要との観点から、この第1章の内容をまとめている。第1章でまとめた課題が、第4章の「産業施策の視点」につながるという構成にしている。
- ・環境のことについて、どういう取組みを指標として入れていくのか、課内で議論したが、まとまらなかったもので、現時点では項目としては入れていない。「こういった指標を入れたほうがよい」というご意見があったら、教えていただきたい。

(委員)

- ・第1章の位置付けは把握した。できれば、「市を取り巻く」と書かれるよりは「日本を取り巻く」と記載するなど、章題は工夫された方がよい。第4章に内容が引き継がれるというのは、文面としてよく分かる。
- ・第4章に以前は記載があった「豊中らしい豊かさの追求」という項目を削除し、この項目に記載されていた内容を、第4章の1〜4に振り分けたとのことだが、むしろ反対で、この「豊中らしい豊かさの追求」こそ、第4章に必要と考える。「産業ビジョン」は計画名の「〇〇市」を隠してしまうと、どこの市も同じような内容となる。豊中の強みと特徴が書かれているので、「豊中らしい豊かさの追求」がなくなってしまうのは寂しい。
- ・環境について、会長から話のあった「ゼロ・カーボン」は、むしろ行政より進んで取り組んでいる企業も多いし、これからも企業がどんどん環境問題に取り組んでいくと思う。指標については、例えば、企業による温室効果ガス排出量の削減量、企業内部のリサイクル率、事業系ゴミの排出量、再生資源を集団回収する団体数、再生可能エネルギーをどれだけ企業や団体が普及させているか、等の指標が環境系の指標として用いられている。

(会長)

- ・第1章の章題の見直しと、第4章に「豊中らしさ」を戻した方が、豊中市が考えている取組みの考え方、視点が明確になるのではないか。
- ・環境については、市の他の部署などで取り組んでいる環境の指標を流用するのも方法の一つである。

(委員)

- ・来春に市長選挙があり、当選者によって、方向性が変わってしまうことも想定される。
- ・経済循環を「豊中市内で完結させよう」と思っていないか」という疑問を抱いた。豊中市民が最終的に豊かになればいいとは考えるが、「市内で完結」を意識しすぎて内向きの取組みになるのではなく、

むしろ、市外に出ていくことが必要である。日本自体が外向きになっていない中、日本国内が縮小傾向になれば、豊中市も同調して縮小傾向になるのか。私はそうでないやり方でビジネス・事業を進めていきたいと考えている。

- ・豊中市民が豊中の会社に勤めて、豊中でお金を落とす発想だが、稼ぐのは市外で稼ぎ、そのお金が、豊中に持ち込まれて、豊かな豊中のまちづくりに役立つことができれば良いのではないか。我が社にも全国各地から新入社員が入って来るが、新入社員に「豊中に住んだら、援助もしてくれるし、悪くないよ」ということが自信を持って言えればと思う。豊中で全てを稼ぐのではなく、稼ぐのは世界や日本各地からというのが、私の根本的な発想である。

(会長)

- ・資料1の30ページ、リーサスを使った説明で地域循環の話があったが、「地域循環の中で産業振興を行う考え方」に、「将来の考え方」についても盛り込む余地があるのではないかな。

(事務局)

- ・地域経済循環の考え方については、生産の部分で、付加価値の部分を増やすということである。それは豊中の中で閉じるということではなく、市内企業が日本国内、世界でお金を稼ぎ、生産の部分を増やすことが一番大事な肝だと思っている。その結果、分配するときには、できるだけ地域にお金が流れるようにしてほしいと考えている。肝は生産の部分、付加価値額を上げるということである。資料1の第5章①「市内事業者の生産性・付加価値向上による成長促進を支援」については、チャレンジ促進プランを引き継ぎ、大事にしていきたいと考えている。

(会長)

- ・他の委員からも意見が出たが、活動指標が、6年間の延べ件数になっていて、現状維持せざるをえないような状況が見て取れる。例えば、先ほどのモニタリング指標の考え方で、6年間全ての数値を挙げるのではなく、最初の2〜3年間のスタートアップの時期にこれを実施する、その後は見直して、目標数値を設定するというやり方にしてはどうか。また、今挙げている事業の中でも、この事業は市としても頑張っていくという事業については、数値も強気で入れた方がよい。
- ・事務局から「(仮称)豊中市 新・産業ビジョン」のタイトルに関してもご審議いただきたいとの要望がある。参考として、例えば、「地域経済振興構想」とか、「産業振興計画」とか、「地域経済アクションプラン」などが出ている。
- ・内容に合わせたタイトルに変更した方がよいと考えるが、皆さんからご意見をいただきたい。
- ・「新・産業ビジョン」は、ビジョンとしつつ、内容としてはアクションプランまで含んでいるので、「地域経済アクションプラン」というのもよいかもしれない。

(委員)

- ・最近、私が関わったものでは、「産業振興プラン」が多い。どうしても同じ名称になるので、副題を付けるのもよいと思う。

(委員)

- ・私も副題を入れた方がよいと思う。メインタイトルと副題がある方がよい。
- ・副題には基本方針の言葉を使ってはどうか。基本方針はすごくまとまっていると思う。メインタイトルは、「新・産業プラン」にして、副題に基本方針にある「地域経済」を入れてはどうか。

(会長)

- ・めざす姿が、「産業が地域社会を支え、生活を豊かにする好循環を生むまち」なので、サブタイトルにも、この要素を入れてはどうか。

(委員)

- ・「地域経済好循環」というタイトルを他市で使っているところは、あまり聞いたことがない。だから逆に、「好循環」を使うのもよいのではないかな。

(会長)

- ・「地域経済の好循環をめざして」というような副題が良いのではないかな。
- ・副題をキャッチフレーズ的にして、「計画の方向性を見せる」というのも一つの方法と思う。
- ・委員の皆さまからいただいたご意見などを踏まえ、答申案と産業ビジョンの最終案の策定を進めていきたいと思う。

(2) その他

(会長)

- ・それでは「案件2 その他」について事務局から何かあるか。

(事務局)

- ・次回の審議会は、12月28日午前10時からオンラインでの開催を予定している。12月の審議会では、答申案に関する内容について、ご審議をお願いします。
- ・2点目として、本日の会議録について、事務局で作成した案を後日、委員の皆さまにご確認いただき、内容を確定する。なお、会議録の概要については、豊中市のホームページなどで公開することをご了承いただきたい。

(会長)

- ・これで、令和3年度第3回産業振興審議会を閉会する。

以上